

10. 呼吸器系の疾患（インフルエンザ、鼻炎を含む）

文献

Kikuchi A, Seki T, Takayama S, et al. Effect of press needles on swallowing reflex in older adults with cerebrovascular disease: a randomized double-blind controlled trial. *Journal of the American Geriatrics Society* 2014; 62(12): 2438-2440. CENTRAL ID: CN- 01054072, PMID: 25516042

1. 目的

脳血管障害を持つ高齢者に対する円皮鍼の誤嚥性肺炎予防効果の評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

東北大学大学院、宮城、日本

4. 参加者

65歳以上の脳血管障害患者 29名（男性 10名、女性 19名、平均年齢 82.2±7.1歳）

5. 介入

Arm 1: 円皮鍼群 10名。円皮鍼（直径 0.2mm×長さ 0.6mm のパイオネックス、セイリン社製）を、足三里(ST-36)、太谿(KI-3)に貼付。

Arm 2: 偽鍼群 10名。円皮鍼と同形状で鍼先を切除したシールを、足三里(ST-36)、太谿(KI-3)に貼付。

Arm 3: 非経穴群 9名。円皮鍼を非経穴に貼付。

6. 主なアウトカム評価項目

嚥下反射潜時 (LTSR)の変化、サブスタンス P、バーセルインデックス、ミニメンタルステート検査、発熱の日数、BMI。

7. 主な結果

LTSR の前後比較より、円皮鍼群 (P=0.005)で有意に改善したが、偽鍼群 (P=0.20)、非経穴群 (P=0.26)では有意差がみられなかった。群間比較より、円皮鍼群と偽鍼群の間に有意差がみられ (P=0.008)、円皮鍼でより改善した。円皮鍼群と非経穴群の間には有意差が認められなかった (P>0.99)。その他の指標については、いずれも有意差がみられなかった。

8. 結論

脳血管障害を持つ高齢者に対する円皮鍼の貼付により嚥下反射が改善された。

9. 鍼灸医学的言及

記載なし。

10. 論文中の安全性評価

記載なし。

11. Abstractor のコメント

二重盲検 RCT によって円皮鍼の誤嚥性肺炎予防効果について評価した、興味深い研究である。しかし、原著論文ではなくレターのため、情報量が不足している。今後、本研究の成果を原著論文として詳細に公表されることを期待したい。

12. Abstractor and date

保坂政嘉 2016.11.19